

授業開講年度	2026	開講キャンパス	さくら夙川キャンパス
開講学期	秋学期	開講曜日・時限	水曜1限
科目コード	ZG0405	授業コード	45265
レベルナンバー	200	配当年次	カリキュラムにより異なります。
授業科目名	日本近代の都市		
担当教員名【代表】	尾崎 耕司		
担当教員名			
授業形態	講義		
授業方法	対面授業		
単位数	2.0		
ディプロマポイント評価観点(※本科目がどの項目に該当しているかを示す)			
Knowing			
(知識とリテラシー)	教養と専門知識【DP1】	○	知識・情報を活用する力【DP2】
Doing			
(実践力)	国際感覚【DP3】		対人基礎力【DP4】
	対自己基礎力【DP5】		対課題基礎力【DP6】
Being			
(信念と志)	豊かな人間性と肯定的自己概念【DP7】		社会的責任【DP8】
授業の目的	横山源之助『日本の下層社会』の輪読を通して、日本の歴史を都市空間として理解する力を身につける。		
到達目標	近代日本の都市について歴史地理として基本的な理解が身につく。 史料を読み、そこから不明なこと自ら疑問に感じることを自身で調べノートにまとめることで、情報の収集能力が高まる。		
授業概要	【重要】履修者の人数制限について、下記の備考欄を必ず読むこと。 本講義は、日本近代史の都市に関する史料を読み理解を深める。学生による史料の輪読と、教員による解説との複合実施方法で授業を進めていく。ノートテイキングを重視する。		
課題レポート等	毎回講義内容のノートテイクを画像として提出する。さらに学期末には、この毎回のノートに自ら調べた内容を加えて整理および清書をおこない、全15回分の講義ノート完成版を画像として提出する。これを期末レポートに代える。		
フィードバックの方法について	el-Campusをもっておこなう。		
授業時間外学習	予習としてはテキスト横山源之助『日本の下層社会』について当該個所の読みを漢和辞典などを利用して調べておく。復習としては、講義内容のノートを、自らさらに調べ理解を深めた事柄を加えて今一度整理および清書し、期末の提出用として準備を進めておくこと。		
授業回数	主題	概要	授業時間外学習(学習内容・時間)
01	はじめに	第1回目は、本授業の内容と目的についてガイダンスをおこなう。また、筆者＝横山源之助について解説を試みる。	日本近代の都市について、ありたけの好奇心を持って授業に臨むこと。授業受講後は講義ノートをよく整理し画像ファイルとして提出すること。また、講義内容のノートを自らさらに調べ理解を深めた事柄を加えて今一度整理および清書し、期末の提出用として準備を進めておくこと(2時間)。
02	東京の概観	第2回目は、教材『日本の下層社会』の第1編「東京貧民の状態」の冒頭部分をまずは各自で読み、内容を詳しくノートにまとめていく。	あらかじめ横山源之助『日本の下層社会』について毎回指示する個所の読みを漢和辞典などを利用して調べておくこと(2時間)。授業受講後は講義ノートをよく整理し画像ファイルとして提出すること。また、講義内容のノートを自らさらに調べ理解を深めた事柄を加えて今一度整理および清書し、期末の提出用として準備を進めておくこと(2時間)。
03	横山源之助について	第3回目は、前回各自でまとめたノートにもとづき、全員で輪読と討論をおこなう	あらかじめ横山源之助『日本の下層社会』について毎回指示する個所の読みを漢和辞典などを利用して調べておくこと(2時

		とともに、本所、深川、浅草といった地域について解説を試みる。	間)。授業受講後は講義ノートをよく整理し画像ファイルとして提出すること。また、講義内容のノートを自らさらに調べ理解を深めた事柄を加えて今一度整理および清書し、期末の提出用として準備を進めておくこと(2時間)。
04	細民街の形成	第4回目は、教材の続きをまずは各自で読み、内容を詳しくノートにまとめていく。また、近世後半から明治初頭の江戸・東京について解説を試みる。	あらかじめ横山源之助『日本の下層社会』について毎回指示する個所の読みを漢和辞典などを利用して調べておくこと(2時間)。授業受講後は講義ノートをよく整理し画像ファイルとして提出すること。また、講義内容のノートを自らさらに調べ理解を深めた事柄を加えて今一度整理および清書し、期末の提出用として準備を進めておくこと(2時間)。
05	東京：中心と周辺	第5回目は、前回各自でまとめたノートにもとづき、全員で輪読と討論をおこなうとともに、都市東京について、地図を使いながらその中心と周辺の特徴を踏まえて解説を試みる。	あらかじめ横山源之助『日本の下層社会』について毎回指示する個所の読みを漢和辞典などを利用して調べておくこと(2時間)。授業受講後は講義ノートをよく整理し画像ファイルとして提出すること。また、講義内容のノートを自らさらに調べ理解を深めた事柄を加えて今一度整理および清書し、期末の提出用として準備を進めておくこと(2時間)。
06	東京の三貧窟	第6回目は、教材の続きをまずは各自で読み、内容を詳しくノートにまとめていく。また、細民・貧民・窮民の区分について解説を試みる。	あらかじめ横山源之助『日本の下層社会』について毎回指示する個所の読みを漢和辞典などを利用して調べておくこと(2時間)。授業受講後は講義ノートをよく整理し画像ファイルとして提出すること。また、講義内容のノートを自らさらに調べ理解を深めた事柄を加えて今一度整理および清書し、期末の提出用として準備を進めておくこと(2時間)。
07	三貧民窟の特徴	第7回目は、前回各自でまとめたノートにもとづき、全員で輪読と討論をおこなうとともに、また、鮫が橋、万年町、新網の東京三貧民窟について解説を試みる。	あらかじめ横山源之助『日本の下層社会』について毎回指示する個所の読みを漢和辞典などを利用して調べておくこと(2時間)。授業受講後は講義ノートをよく整理し画像ファイルとして提出すること。また、講義内容のノートを自らさらに調べ理解を深めた事柄を加えて今一度整理および清書し、期末の提出用として準備を進めておくこと(2時間)。
08	江戸・東京の特質	第8回目は、前回各自でまとめたノートにもとづき、全員で輪読と討論をおこなうとともに、近世期に武家地が多く占めた江戸・東京に貧民窟ができる特徴について解説を試みる。	あらかじめ横山源之助『日本の下層社会』について毎回指示する個所の読みを漢和辞典などを利用して調べておくこと(2時間)。授業受講後は講義ノートをよく整理し画像ファイルとして提出すること。また、講義内容のノートを自らさらに調べ理解を深めた事柄を加えて今一度整理および清書し、期末の提出用として準備を進めておくこと(2時間)。
09	大阪の概観	第9回目は、教材の大阪に関する記述部分を取り上げ、まずは各自で読み、内容を詳しくノートにまとめていく。	あらかじめ横山源之助『日本の下層社会』について毎回指示する個所の読みを漢和辞典などを利用して調べておくこと(2時間)。授業受講後は講義ノートをよく整理し画像ファイルとして提出すること。また、講義内容のノートを自らさらに調べ理解を深めた事柄を加えて今一度整理および清書し、期末の提出用として準備を進めておくこと(2時間)。
10	大阪長町(名護町)について	第10回目は、前回各自でまとめたノートにもとづき、全員で輪読と討論をおこな	あらかじめ横山源之助『日本の下層社会』について毎回指示する個所の読みを漢和辞

		うとともに、近世・近代の大阪とそこに生まれた貧民窟＝名護町について解説を試みる。	典などを利用して調べておくこと（2時間）。授業受講後は講義ノートをよく整理し画像ファイルとして提出すること。また、講義内容のノートを自らさらに調べ理解を深めた事柄を加えて今一度整理および清書し、期末の提出用として準備を進めておくこと（2時間）。
11	大阪長町（名護町）の庶民生活	第11回目は、教材の続きをまずは各自で読み、内容を詳しくノートにまとめていく。また、大阪長町（名護町）の庶民生活について解説を試みる。	あらかじめ横山源之助『日本の下層社会』について毎回指示する個所の読みを漢和辞典などを利用して調べておくこと（2時間）。授業受講後は講義ノートをよく整理し画像ファイルとして提出すること。また、講義内容のノートを自らさらに調べ理解を深めた事柄を加えて今一度整理および清書し、期末の提出用として準備を進めておくこと（2時間）。
12	近世期貧困者の増加	第12回目は、前回各自でまとめたノートにもとづき、全員で輪読と討論をおこなうとともに、近世期貧困者の増加について解説を試みる。	あらかじめ横山源之助『日本の下層社会』について毎回指示する個所の読みを漢和辞典などを利用して調べておくこと（2時間）。授業受講後は講義ノートをよく整理し画像ファイルとして提出すること。また、講義内容のノートを自らさらに調べ理解を深めた事柄を加えて今一度整理および清書し、期末の提出用として準備を進めておくこと（2時間）。
13	近代資本主義と貧困	第13回は、前回各自でまとめたノートにもとづき、全員で輪読と討論をおこなうとともに、近代資本主義の形成と貧民について検討する。	あらかじめ横山源之助『日本の下層社会』について毎回指示する個所の読みを漢和辞典などを利用して調べておくこと（2時間）。授業受講後は講義ノートをよく整理し画像ファイルとして提出すること。また、講義内容のノートを自らさらに調べ理解を深めた事柄を加えて今一度整理および清書し、期末の提出用として準備を進めておくこと（2時間）。
14	マッチ製造と貧民	第14回は、マッチ製造と貧民の生活の変化について解説を試みる。	あらかじめ横山源之助『日本の下層社会』について毎回指示する個所の読みを漢和辞典などを利用して調べておくこと（2時間）。授業受講後は講義ノートをよく整理し画像ファイルとして提出すること。また、講義内容のノートを自らさらに調べ理解を深めた事柄を加えて今一度整理および清書し、期末の提出用として準備を進めておくこと（2時間）。
15	期末のまとめ	第15回目は、本授業のまとめとして課題についての成果物を仕上げ提出する。	あらかじめ横山源之助『日本の下層社会』について毎回指示する個所の読みを漢和辞典などを利用して調べておくこと（2時間）。授業受講後は講義ノートをよく整理し画像ファイルとして提出すること。また、講義内容のノートを自らさらに調べ理解を深めた事柄を加えて今一度整理および清書し、期末の提出用として準備を進めておくこと（2時間）。
成績評価の基準と方法		毎回の講義ノート提出課題がなされていることを前提に、期末のレポートを採点しその得点をもとに下記の通りランクを与える(100%)。 A：90～100点 B；80～89点 C：70～79点 D：60～69点 となる。ただし、繰り返しになるが、授業への毎回の出席はもちろんのこと、毎回の講義ノート提出課題が未提出のものには原則として単位を与えない。もしくは、試験では取得するはずのランク（A～D）が下がることもある。	

	授業時における発言回数も成績に加味する。履修者の発言回数の平均をもとに、平均を大きく上回る発言をし積極的に授業に参加したものは、B→A、C→B、D→Cとランクが上がる場合がある。逆に平均より発言回数が大きく下回るものはランクを下げ、D→Fとなる場合もある。
教科書	横山源之助『日本の下層社会』（岩波文庫）
参考図書	適宜授業中に指示する。
授業に関する質問等の方法	初回授業で担当教員に確認をしてください。
備考	<p>【重要】</p> <p>1. 履修定員について：本講義は、150名をもって定員とし、履修希望者が超過した場合は選考をおこなう。選考は、履修登録の締め切り後、第1回授業が始まるまでに実施し掲示をおこなう。抽選などはおこなわない。選考にあたっては、日本史の扉（入門科目）に継ぐ基礎科目としての本科目の趣旨にもとづき史学コース各メジャーを履修している2年次生を最優先し、次に同メジャーを履修している4年次生を優先する。これにあたらぬものは、選考から漏れることがあるので、履修登録の際にはよく注意すること。</p>
短大同時開講使用欄	